

地域コンソーシアム伴走支援委託業務公募型プロポーザル審査結果について

1 審査について

参加申込書の提出があった1者について、資格要件を満たしていることを確認のうえ、企画提案書の提出を求め、審査委員会を開催し、審査を実施した。

(1) 日時：令和8年4月9日（木）午前11時00分から午後12時00分まで

(2) 場所：高知県庁 西庁舎 地下会議室（高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号）

2 審査項目及び方法

審査項目及び配点は以下のとおり

- | | | |
|------------------------|-----|--|
| (1) 学校や地域の魅力化に係る伴走支援実績 | 30点 | } 100点（審査委員一人あたり）
× 審査委員5名 = 合計500点 |
| (2) 提案内容 | 60点 | |
| (3) 安価性 | 10点 | |

審査方法は、ヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答）により各審査委員が審査（採点）を行った後、審査委員全員の審査（採点）を集計し、地域コンソーシアム伴走支援委託業務公募型プロポーザル審査要領に基づき、契約の相手方となる候補者を選定した。

3 審査結果

	参加者	総合得点
候補者	一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム	350点

4 審査委員の主な意見

- ・現地アドバイザー一個人に依存せず、スタッフがチームとして学校や行政に深く関わり、期限内にスピード感を持って事業を牽引していただきたい。
- ・助言のみに留まらず、自ら地域の中に入って実情を把握し、現場の方々が主体的にPDCAを回していけるような実効性のある支援をしていただきたい。
- ・高校存続の必要性を地域へ明確に伝えるなど、時には厳しい役割を担ってでも、地域関係者の立場を理解し、地域の動きを強力に後押ししていただきたい。